

地域住民の福祉、医療の充実を

～ICTを活用した在宅医療連携を検討～



のり 義 範
くつ かけ よし
沓 掛 義 範

創 生 会

質

うすき石仏ねつとのような市内医療機関及び広域圏内での取り組みはできないか。

答

高齢者福祉課長

本市では、平成28年度に豊後大野市在宅医療、介護連携推進協議会を設置し、包括的かつ継続的な在宅医療、在宅介護を提供する体制づくりを進めています。

また、平成31年度からICTを活用した在宅医療連携を検討することとしており、豊後

移住・定住促進について

～情報提供や啓発活動を行う～

大野市医師会、市民病院、地域包括支援センター等と連携しながら、在宅医療・介護サービスの連携と提供体制の整備に努めます。

質

市内の移住・定住の現状は。

答

まちづくり推進課長

平成26年度から持家取得助成制度利用が48組138人、空き家バンク制度利用が50組128人、計98組266人となっています。

質

児童、生徒数の動向とそれを見据えた取り組みは。

答

学校教育課長

平成36年度には313人の児童・生徒が減少すると予測されています。

こうした状況を踏まえ、地域とともにある学校づくりを進め、小・中9年間を見据えた連携型小・中一貫教育を



移住を検討するために、市内にお試し滞在施設を実施

質

千歳町におけるまちづくり、移住・定住の取り組みは。

推進しています。また、今後は小・中学校が完全一体となる義務教育学校も研究を進めていきます。

答

まちづくり推進課長

現時点で、大野町以外での宅地分譲開発の予定はありません。今後は、活用できる市有地の有無や交通利便性以外の立地条件など、経済的な合理性を十分検討し、宅地分譲開発の可能性について研究していきます。



みや なり あき よし
宮 成 昭 義
創 生 会

戦略品目・重点品目の規模拡大等は

～活力あふれる園芸産地整備事業等を活用して推進～

質

園芸品目である主要戦略品目・重点品目の規模拡大、産地化、ブランド化の状況は。

答 農業振興課長

規模拡大は、戦略4品目全て栽培面積増、重点6品目は1割ほど減少していますが、スイートピー、イチゴで新規栽培者の参入で面積の増となっています。産地化の状況は、かんしよでは面積、販路とも拡大が図られています。

ます。

ブランド化は、豊後大野市産の農産物は、いずれの市場でも高い評価をいただいています。

今後も、売れるものづくりと売れる仕組みづくりに取り組みます。

排熱利用事業の動向は

～事業着手の方向性を見いだせるよう努める～

質

平成30年度当初予算で2億1019万円余りの予算計上がなされた木質バイオマス発電所周辺整備事業は、年内着手が困難とのことで全額減額補正がなされた。この事業の今後の再着手の見通しは。

答 市長

地元説明会では、粉じん飛散への対応に十分な理解が得ることができませんでした。引き続き、木質チップの粉じん飛散への対応に取り組み、住民から一定の理解をいただいて事業着手の方向性が見いだせるよう努めます。

公共施設の跡地利用は

～創寿苑は法の手続きに則し対応、
千歳公民館跡地利用は今後検討～

質

千歳町の高齢者生活福祉センターの廃止後、公民館の解体後の跡地利用の考えは。

答 生活福祉統括理事

千歳高齢者生活福祉センター創寿苑の廃止後の活用は、国の補助金等の交付を受けて整備した施設であることから、これらに十分配慮し対応します。千歳公民館の跡地利用は、具体的な計画はなく、今後検討します。



千歳町 創寿苑